

重量投げで世界記録を出した

くろさきひろあき  
黒崎弘明さん 91

82歳で遅咲きの「陸上デビユー」を果たした。しかし今年6月の大会では、約5kgの鉄球を投げる重量投げで11・05kgを記録し、男子90〜94歳クラスの世界記録を打ち立てるなど、現在、八つの日本記録と一つの世界記録を持つマスター陸上界の鉄人だ。

山と海に囲まれた新潟県の集落で生まれ育った。高校卒業後、就職した地元の自動車部品メーカーを定年まで勤め上げた。79歳で胃がんにかかり、胃の4分の3を切除。体力回復のため、トレーニングを始めた。そんななか、孫が出場する陸上大会に応援で足を運び、「自分も走ってみたい」とこの思いがわき上がった。2015年5月、力試しで新潟市のマスターズ陸上に初出場。100kgを17秒28で走り、80〜84歳クラスの大会記録をあっさり更新した。チェーンソーを使って山を

動画投稿と二足のわらじ

顔 Sunday



を打ち立ててきた。

07年に妻・テル子さんを亡くし、一人暮らしを続けるが、生活に悲壮感はない。陸上選手としてだけでなく、自らの練習風景などの動画をパソコンで編集する「ユーチューバー」としても活動し、忙しい毎日を送っている。陸上競技場で「動画を見ましたよ」と若者から声をかけられることもある。「老いても出来る。そう思ってもらえたらうれしい」と話す。

次の目標は、95歳〜99歳クラスでの世界記録と動画投稿数100件。「二足のわらじ」は当然、脱げそうにない。

(社会部 押田健太、写真も)

切り開き、練習場を「自作」。砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ、ハンマー投げ、立ち五段跳びと、次々と新たな競技に挑戦し、そのたびに日本記録

友人に触発され、79歳で動画投稿を始めた。独学で動画編集ソフトの使い方を学び、地元の祭りや自らのトレーニングの様子を撮影した動画を自ら編集。計58本を公開している。